

当院の短時間通所リハビリテーション におけるアクティビティのニーズ調査

○高野 友美(OT)

和田 千恵(OT) 清水 美穂(OT)

中川 由子(OT) 石栗 千秋(SW)

内山 豪(SW) 荻荘 則幸(MD)

【はじめに】

平成21年に行った当院の短時間通所リハビリテーション（以下短時間通所リハ）のニーズ調査では、身体機能、歩行機能面でのニーズが高い傾向を示した。

短時間通所リハ	通所介護施設
歩行能力を改善したいから(100%)	体力を向上させたいから(70.6%)
筋力を強くしたいから(88.5%)	筋力を強くしたいから(68.2%)
転倒を予防したいから(88.5%)	歩行能力を改善したいから(67.1%)
痛み・しびれをとりたいから(76.9%)	転倒を予防したいから(65.9%)
外出する機会にしたいから(76.9%)	他の人との関わりを持ちたいから(65.9%)
	会話をする機会を増やしたいから(65.9%)

当院の主なプログラム

- ・個別リハビリ
 - ・物理療法
 - ・体操
- 利用者の状態に合わせて
1～2時間内で行えるプログラムを
リハスタッフが検討

身体機能中心のプログラム

身体機能面へのプログラムが多い中、作品展示会を機に、当院の短時間通所リハでもアクティビティを実施した。

その時の利用者の反応は様々であった。

そこで今回は、当院の利用者のアクティビティにおけるニーズを調査した。

【対象】

短時間通所リハ、同法人の通所介護施設（以下デイサービス）利用者を対象とし、認知機能面の低下が認められる方は、対象外とした。

【方法】

アンケートを作成し、現在の短時間通所リハ、デイサービス利用者に各施設スタッフが直接聞き取りを行なった。

短時間通所リハビリ利用者様

H23年 月 日

アンケート調査ご協力をお願い

平素より当法人の短時間通所リハビリをご利用いただき大変ありがとうございます。
この度、皆様の現在の活動状況と興味・関心のほどを調査させていただき、サービス内容の充実を図っていきたく考えています。
お手数ではありますが、下記のアンケート調査にご協力をよろしくお願いいたします。
なお、このアンケート調査で得た情報は上記の目的のためにのみ使用され、その他の目的で利用されたり、個人が特定されることはありません。

各質問を読んでいただき、当てはまるものに○を付けてください。

① あなたの性別を教えてください。

男性	女性
----	----

② あなたの現在の年齢が当てはまる年代に○を付けてください。

50歳以下	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
-------	--------	--------	--------	--------	-------

③ あなたの現在の介護度を教えてください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
------	------	------	------	------	------	------

④ 現在、短時間通所リハで実施している作業・趣味活動はありますか？

手芸	折り紙	塗り絵	囲碁	将棋	オセロ	麻雀	カラオケ
その他()							

※その他に○を付けた方は具体的な内容を記載してください。

⑤ ④の質問で○を付けた方にお聞きします。活動はどの程度の頻度で実施していますか？

毎回	時々	たまに	ごくまれに	誘われれば
----	----	-----	-------	-------

⑥ 下記の活動の中で興味・関心のある活動はありますか？

陶芸	書道	生花	茶道	手工芸	農作業	園芸	体操
スポーツ	ゲーム	健康講座などの受講					
その他()							

⑦ 現在、短時間通所リハ以外(自宅や地域)で行っている作業・趣味活動はありますか？

陶芸	書道	生花	茶道	手工芸	農作業	園芸	体操
スポーツ	ゲーム	健康講座などの受講					
その他()							

⑧ 現在の短時間通所リハでの活動に満足していますか？

満足している	まあまあ満足	どちらでもない	やや不満	不満である
--------	--------	---------	------	-------

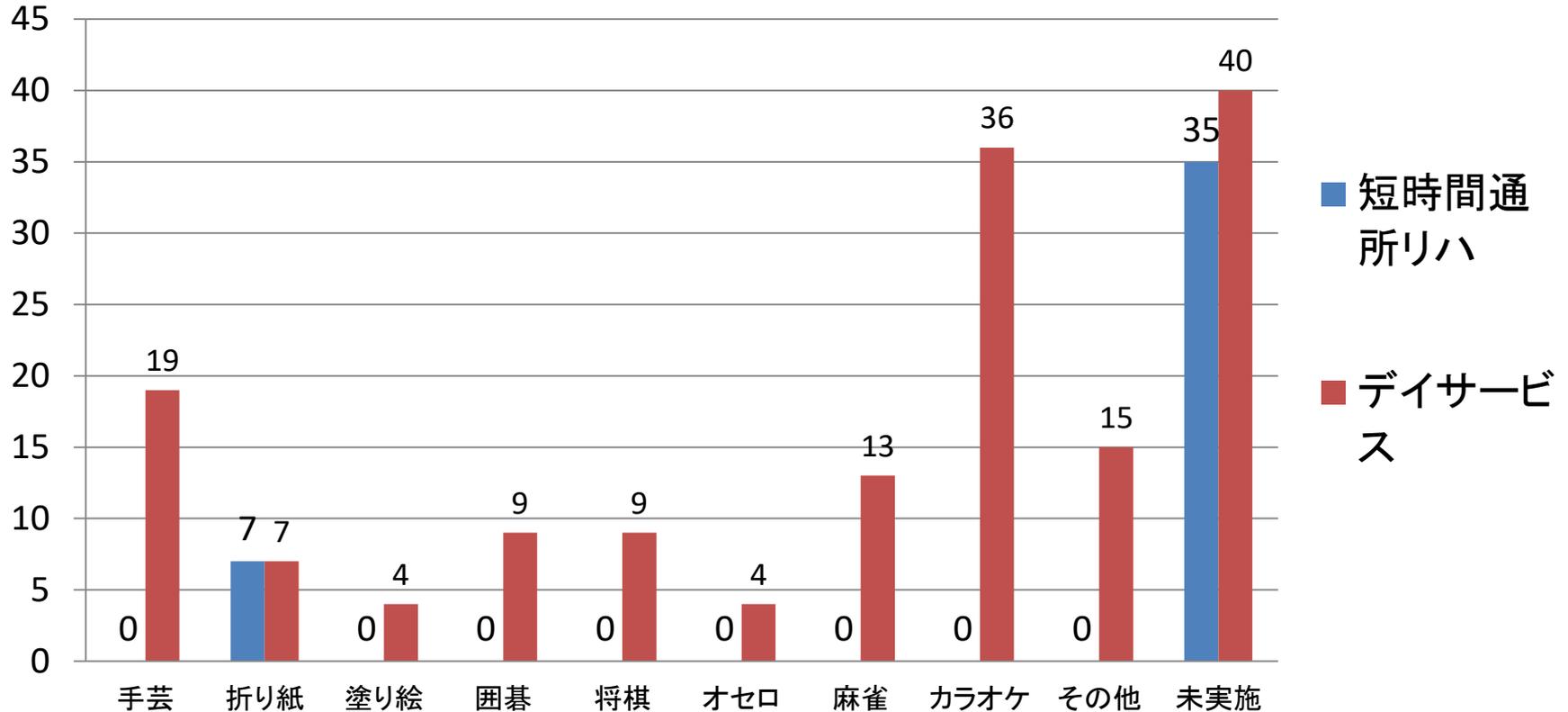
⑨ 現在、自宅や地域での生活や活動状況には満足していますか？

満足している	まあまあ満足	どちらでもない	やや不満	不満である
--------	--------	---------	------	-------

質問は以上です。
ご協力ありがとうございました。

【結果①】

アクティビティ実施者数と内容

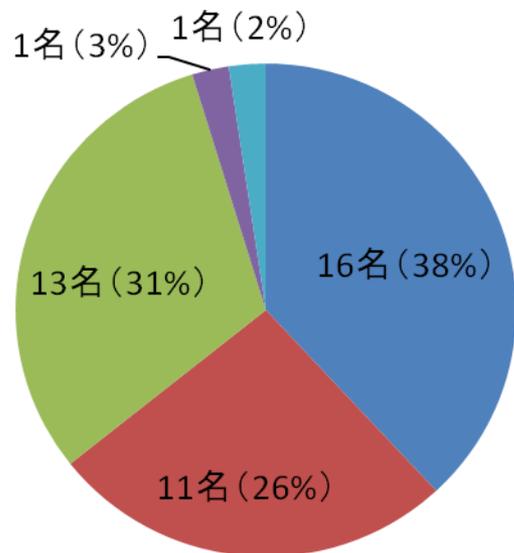


短時間通所リハはデイサービスに比べてアクティビティ実施者が少なく、実施している内容も乏しい。

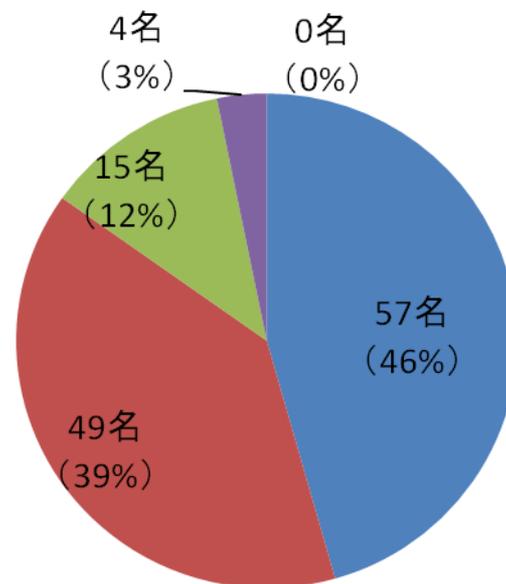
【結果②】

満足度

短時間通所リハ



デイサービス

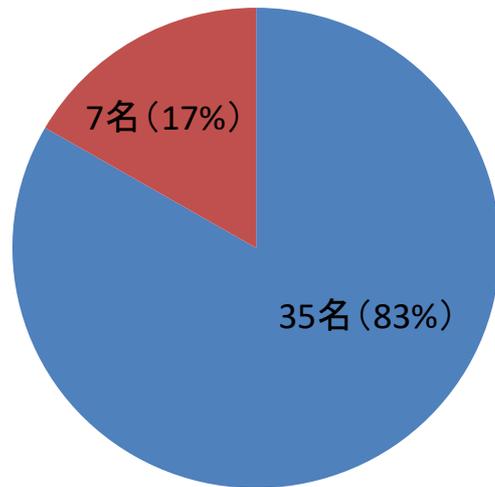


短時間通所リハ、デイサービスともに満足・まあまあ満足の利用者が過半数を超える。しかし、短時間通所リハでは「どちらでもない」の回答者が多い。

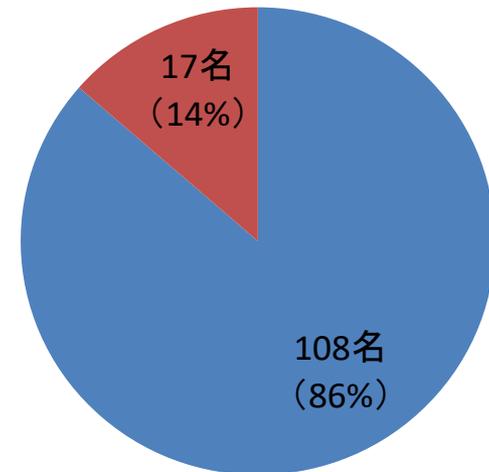
【結果③】

興味・関心の有無

短時間通所リハ



デイサービス



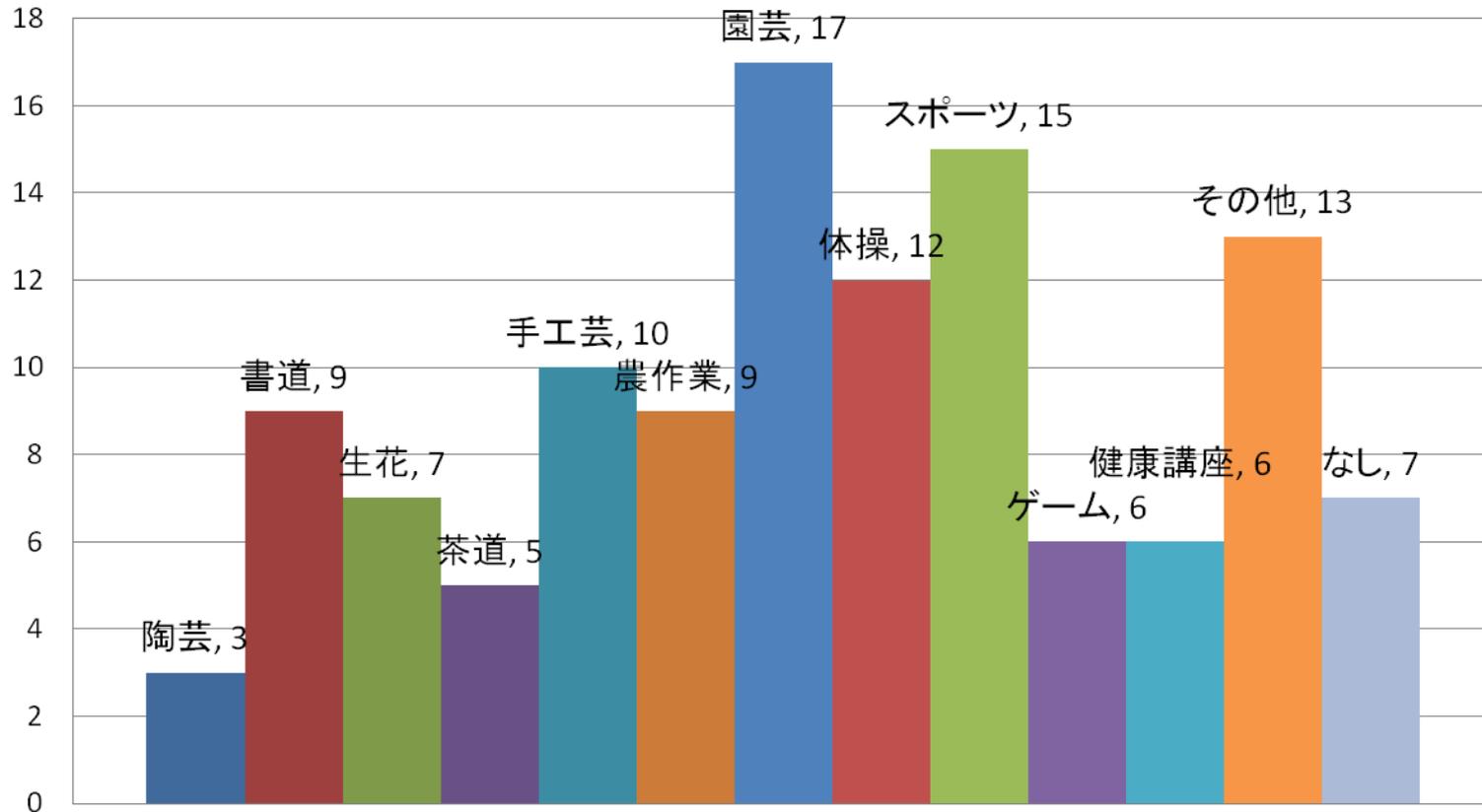
■ 興味・関心あり

■ 興味・関心なし

短時間通所リハ利用者もデイサービス利用者も過半数以上が何らかのアクティビティに興味を持っている。

【結果④】

興味・関心のあるアクティビティ(短時間通所リハ)

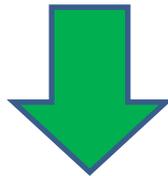


短時間通所リハで興味・関心のあるアクティビティの上位は、園芸、スポーツ、その他、体操、手工芸であった。

【考察】

短時間通所リハの特徴

- ・アクティビティの実施が少ない。
- ・アクティビティの実施内容が乏しい。
- ・アクティビティに対する興味や関心を持っている利用者が過半数以上。
- ・興味・関心は多岐に渡っている。



短時間通所リハでアクティビティに対する興味・関心を生かせる場を提供していくことで、利用者の満足度も向上し、より充実したサービスの提供につながると考える。

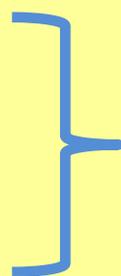
【今後の展望①】

今後の関わり

- ・趣味活動を継続したい利用者には・・・？
 - ➡動作方法や使用する道具への助言。
- ・スポーツが好きな利用者には・・・？
 - ➡スポーツ的な要素があるゲームの企画や必要な道具の作成・準備を個別リハビリの時間に組み込み、物理療法や送迎の待ち時間を利用して他利用者とゲーム大会を実施する。
- ・園芸が好きな利用者には・・・？
 - ➡当院の花壇で栽培している野菜を、歩行練習時に収穫をしてもらう。
- ・その他の項目で個性的な趣味活動を持っている利用者には・・・？
 - ➡ご自宅で作成した作品を展示会に出展したり、院内に飾る。
同法人内の施設(デイサービス等)で手芸教室や所属しているサークルの発表機会を提供する。

【今後の展望②】

- ・個別リハビリ
- ・物理療法
- ・体操

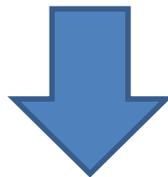


利用者の状態に合わせて
1～2時間内で行えるプログラムを
リハスタッフが検討

身体機能中心のプログラム



アクティビティ



QOLの向上